

勅使河原宏没後 20 年特別企画

勅使河原 茜

スライドトークショー&デモンストレーション

《 越前焼と春の花 》

越前陶芸村にある草月陶房は、1973年にいけばな草月流第三代家元・勅使河原宏によって開設されました。宏は、映画監督として、また陶芸、絵画、書など様々なジャンルを横断して幅広い芸術活動を展開しました。草月流いけばなを象徴する竹のインスタレーションは、宏が草月陶房で雪の重さに耐えてアーチ状にしなる竹の力強い姿を見たことがきっかけとなり生まれました。

今回の『勅使河原茜、越前焼と春の花』は、令和3年に予定している勅使河原宏没後20年特別企画のイベントです。当代家元・勅使河原茜がスライドとともに父・宏との思い出や自身の作陶について語るトークショーが第1部。第2部は宏と茜の越前焼の花器を用いた、春爛漫のいけばなデモンストレーションをご覧ください。

花木が咲き誇る季節、越前焼とのコラボレーションの世界をお楽しみください。

日時：令和2年3月20日（金・祝）

13:00～15:30

料金：1,000円（古窯博物館・陶芸館入館料込み）

定員：100名

場所：福井県越前古窯博物館【越前陶芸村内】



会場アクセス

鉄道等/ JR 武生駅下車→福鉄バス（武生・越前海岸線 きれい崎行）
「陶芸村口」下車、徒歩約5分

自動車/ 北陸自動車道 武生インター、鯖江インターより約30分

お申込み・お問合せ：福井県陶芸館 中村・北西 福井県丹生郡越前町小曾原 120-61

TEL : 0778-32-2174 FAX : 0778-32-2240 MAIL : tougeikan@pref.fukui.lg.jp



てしがはら あかね

勅使河原 茜（越前古窯博物館特別館長）

2001年第4代家元就任。自由な創造を大切にする草月のリーダーとして、多様化する現代空間にふさわしい新しいいけばなの可能性を追求する。美術家、ミュージシャン、ダンサーなど他分野のアーティストとのコラボレーションに積極的に取り組むとともに、いけばなを通じて子どもたちの感性と自主性を育む「茜ジュニアクラス」を主宰し指導に力を注ぐ。また、舞台空間などに音や光など様々な演出を取り入れて花をいけるパフォーマンス「いけばなLIVE」を国内外各地で上演している。

【主催】福井県陶芸館【協力】一般財団法人草月会・草月文化事業株式会社・草月陶房

【後援】越前町、福井新聞社、FBC、福井テレビ、FM 福井 【迎花】草月会福井県支部